

(令和6年度)
学校自己評価書

園番号	園名
717	辰市こども園

717辰市こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育活動に関するもの	(1) 教育目標・教育計画	① 教育・保育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が共通理解をし、具体的な取り組みに繋がる目標を設定する。 遊びや生活する子どもの姿の読み取り、分析を行うと共に、保護者からの評価を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者対象に教育・保育活動のアンケートを実施し、クラスだよりや懇談会、日々の送迎時など、常に保護者の意見を求めてきた。園評価アンケート結果では、どの項目においても高評価を得た。 職員間での振り返りを行い、子どもの姿を多面的に捉えた。また、その振り返りから明日につながる援助や環境構成について考えた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート等から教育・保育活動全般について、良い評価(全体の90%以上)を得ることが出来たか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの少数派意見を受け止め、より質の高い教育・保育を提供することを目指す。 目指す子ども像と実践がつながるように、計画や保育内容を定期的に見直しをしていく。 職員間の日々の振り返りを継続していく。
		② 教育・保育計画の作成			B		
		③ 教育課程/全体的な計画の編成			B		
		④ 教育・保育活動の評価			A		
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 「奈良市立こども園カリキュラム」に基づいて自園の指導計画の見直しをする。 「心を動かし、意欲をもって遊びや生活する子どもをめざして～子どもの姿から見えてくる育ちや学びを探る～」と研究主題を定めて3年度の取り組みとして、教育・保育の質の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年ごとの指導計画を見直し、研修を進めた。 園内研修では研究主題に沿い、子どもの心の動きを見取る。子どもの心が動いた要因を考え、そこで子どもがどんな育ちや学びをしているか研究を深め、話し合いで出た意見を参考に、その後、実践報告して全職員で共有した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画を基に、一人一人に応じた指導に努め、育ちにつながる援助の在り方を考えながら保育を進めることが出来たか。 職員が、子どもの遊ぶ姿の見取りを行い、分析し、子どもの心の動きに寄り添いながら保育を工夫することで、様々なことを明らかにし、子ども達の成長に繋げることが出来たか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解に努め、子どもの主体性をさらに引き出せるよう、発達に応じた環境構成や援助を迫及する。
		② 保育内容の精選			B		
		③ 指導方法の工夫改善			A		
		④ 評価			A		
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の遊びと繋げ、行事の目的や内容について子どもが主体的に進められるものとする。 前年度の取組の課題から、行事内容の精選と工夫を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な行事において、子どもたちの遊びの延長上での行事として主体的に取り組んだ。 保護者や地域の方に保育内容を伝える機会とし、園児の成長を感じてもらい、理解につながっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートや行事後の保護者の感想、また評議員を含む地域の方々からの意見の中でも、行事について子どもたちが主体的に取り組んでいる姿に評価を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の園行事の参加の仕方においては、就労支援や願いに留意し、無理のない時期や内容であるかを再検討する。
		② 行事内容の精選			B		
					A		
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 家庭支援保育士を中心に置き、年間計画を立案し、職員の共通理解を促す。 一つ一つの伝統行事を確認し合い、人権意識を高めていく。 一人一人を大切に教育・保育していく視点をぶれずに発達段階を踏まえ進めて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人を大切に教育・保育する中で、子どもの自尊感情を高めていった。 伝統行事の本来の意味を知り、子ども達に何を伝えるのか職員間で再確認した。 普段の自分たちの行動を振り返り個々の思いを出し合うことで人権意識が高まっている。 命の大切さを教育・保育に取り入れ、保護者にも発信していった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 職員が子どもへの関わりを意識することで子ども達は自尊感情が、育ってきている。その為には、今後も職員同士話し合いを大事にすることを確認し合い保育に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の良さをさらに認め合えるような取り組みを進める。 命を大切にする自分たちの身を守る取り組みを進め、保護者、地域へも伝えていくようにする。
		② 保育内容の精選			B		
		③ 指導方法の工夫改善			B		
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 報告、連絡、相談、確認を綿密に行い職員間で共通理解をし、適切な指導が行えるようにする。 園児についての相談事など家庭との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談ができやすいような信頼関係の構築を目指した。 就学に向けて、教育相談会後、各学校、保護者と今後の支援の方法を情報共有できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 素早い対応、組織的な対応、職員間の連携を図りながら取り組みを進めたかどうか。 常に保護者と連携が持てるような信頼関係の構築をおこなったかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 配慮が必要な子ども、保護者への適切な対応を模索していく。
		② 教育相談・幼児理解			A		
		③ 家庭との連携			B		
		④ 関係諸機関との連携			B		
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の方々、関係機関との連携を密にし、個々に応じた対応を心掛け進めることが出来た。 それぞれの事案に応じ職員間・各関係機関で情報共有し丁寧に対応を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子について職員間で常に情報交換し、気になる実態について複数の職員で確認したり、保護者や関係機関との連携など迅速に対応する努力をしてきたかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も職員一人一人が、子ども一人一人の実態を把握する努力を常に行う。 日々保護者と顔を合わす中でアンテナを張りちよつとした変化も見逃さないように心がける。
			・日頃より実態把握・早期発見に努めている				
			・各学級の状況を園組織として共有できている				
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援を要する子どもを中心としたクラス運営をする。 一人一人を観察し、課題を明らかにして、具体的な指導方法を共通理解し取り組む。 保護者と連携し、成長していく子どもの姿を共に見守り、集団の中で一人一人の力を発揮できるようにする。 一人一人に応じた指導計画を作成する。 関係機関との連携を密にして、子ども一人一人の理解に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談課、子ども発達センターの専門の先生による指導を受け、一人一人に応じた指導が出来るように努め、定期的に子どもの成長につながっているか振り返った。 コーディネーターと連携し発達の実態を把握し、一人一人に合った手立てについて話し合い実践する中で、保護者の方からの相談も増え、家庭と共に進めることができた。 職員間で、日々の保育での子どもの姿を通しての悩みを話し、具体的な手立てを考えた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の課題について職員が、共通理解の下、指導にあたるようかどうか。 定期的にコーディネーターと一緒に話し合える場を作り、手立てについて話し合うことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援を要する子どもが増加する傾向にあるため、研修を重ねたり体制を整えたりして適切な手立てができるようにする。 保護者に寄り添い、関係機関との連携をより一層密にする。
		② 個々に応じた特別支援教育の内容			B		
		③ 指導方法の工夫改善			A		
④ 家庭との連携		A					
⑤ 関係機関との連携		B					

(令和6年度)
学校自己評価書

園番号	園名
717	辰市こども園

717辰市こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 園の教育ビジョンを作成し、園運営の方針を伝えリーダーシップを発揮するとともに、教職員一人一人の指導力が最大限に発揮できるようにする。 職員一人一人が自分の立場を自覚し、業務に責任をもって取り組む。 職員の園務分掌の適正化を図る。 職員相互のコミュニケーションを密にし、協力し合って、保育・教育を進めていく。 保護者アンケート・自己評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 園経営方針に基づき、またこども園としての理解を職員が行い、保育・教育の方向性を確認することができた。 経験年数を重ねている4人のリーダーには、園として何を働きかけることで職員のチーム力が高まる方法を模索するよう働きかけ、4人のリーダーの園運営に関わる自覚を持ち話し合っすすめていた。 必要に応じて、個々の面談を実施し、職場の人間関係作りの構築に努めた。 保護者アンケートの実施により、園の保育・教育の成果と課題を明らかにすることができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員がそれぞれの立場で、力を発揮し、園教育・保育目標を推進することができたか。 職員が子どもの実態を把握し、園教育目標、研究主題を意識して、日々の保育にあたっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> さらに職員一人一人が、自身の強み弱みを自覚し自信を持って取り組み、園運営に携わることができるように支えていく。 一人一人の職員が日々忙しい中でも保育をより楽しめるようにサポートしていく。
		② 園経営目標・方針			A		
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識			B		
		④ 園務分掌等の連携			A		
		⑤ 会議の運営と位置づけ			B		
		⑥ 会議の結果			A		
		⑦ 職場の人間関係			B		
		⑧ 園評価の実施			A		
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修を行い、副園長が中心となり保育カンファレンスを行い、資質向上を目指す。 園研究主題を設定し、保育研修・実践を行う。 他園の公開保育や研修等に参加し、学んだことを報告し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各年齢、また長時間担当が、年1回以上計10回以上の園内研究会を実施し、職員の力量を高めることが出来た。 研究主題に添って子どもを見取ることでポイントを絞り、子ども理解を深めた。 他園の公開保育や研修に積極的に参加し、学んだことを報告、実践したことで、各保育者の力量を高めることにつながった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修を実施することで、保育改善について話し合いができ、実践につなげていくことができたのか。 園内だけでなく、他園の保育を参観したり、カンファレンスに参加することを通して、積極的な自己研さんがなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な視点から園内研修を企画し保育者の質や指導力を高めるために、計画的・継続的に学び合える研修体制を整える。 園外の研修の報告、伝達の時間を確保し、全職員が学びを共有できるように工夫すると共に、職員が自ら研修へ参加する意識が高まるようにする。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施			A		
		③ 園外の研修への積極的参加			B		
		④ 園外研修内容の報告や伝達			A		
		⑤ 研修成果の普及			B		
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の計画を立案し、様々な場面を想定して実施する。 危機管理マニュアルを再確認をし、命を守る安全対策を十分に行う。 安全指導の工夫改善の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月避難訓練を実施し防災意識の高揚を図る。 訓練ごとの体制の確認やいろいろな場面を想定し、起こる事への対応の確認をした。 実際に起こった重大事故事例で考える機会をもち、何に気をつけていくべきか、緊急時の対応はどのようにするべきかを確認しあった。 緊急時、即対応できるように園独自の表を作成した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の避難訓練をすることにより、職員、子ども達の意識が高まってきているか。 子ども達に自身の身を守るために必要な安全・自己管理についてわかりやすく知らせるように努めたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が、危機管理意識をさらに高める。 効果的な避難訓練の形を模索していく。
		② 防災計画の立案			A		
		③ 危機管理体制の整備			A		
		④ 安全指導の工夫改善			B		
		⑤ 家庭との連携			B		
		⑥ 関係機関との連携			B		
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 保健・健康に関する情報は、紙面で保護者に配布し、予防に努めてもらうようにする。 基本的な生活習慣の確立をめざし、子どもの健康管理に努める。 園医や薬剤師、看護師等と連携をし、衛生管理に努める。 アレルギー対応の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の感染や罹患状況をボードを使って知らせた。 毎月のクラスだよりや園だより等で基本的な生活習慣の自立を促した。 子どもの身体の健康状態を把握し、変化があれば適切な対応を行なった。 衛生管理についても職員ともう一度確認を行なった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の指導を強化することを推進できたか。 室内の湿度、換気、温度調節を徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も感染症等に関しては、保護者へ情報提供していく。 手洗い、うがいの徹底や室内の換気、湿度、温度等衛生面の環境整備をさらに心がける。
		② 心のケアや健康相談の体制の整備			B		
		③ 健康観察、健康管理能力の育成			B		
		④ 関係機関との連携			A		
		⑤ 昼食の衛生管理			A		
	(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域、小学校、中学校との連携 学校評議員会の開催 保護者に地域の催し物の案内 保護者や地域コーディネーターと連携をし、園の保育・教育を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 園の様子を情報発信し、保護者や地域との連携に努める。 評議員委員会を年3回実施し、園児の様子や園の取り組みに対して高い評価を得ることができた。 地域の行事に職員、子どもが参加し交流した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの姿など園の様子を適切に情報発信しているか。 学校評議員会の実施、行事(運動会、生活発表会等)を行い評議員に評価してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> さらにこども園としての理解が得られるよう、ホームページの随時更新やでいあシートの発信に努める 今後も地域との交流を大切にし、子どもの育ちに繋がる取り組みの精選に努める。 学校評議員・保護者の評価を参考に、来年度へ繋げていく。
		② 園(保育)公開			B		
		③ 小学校との接続・連携			B		
		④ こ幼保との連携			B		
⑤ P T Aの活性化		B					
⑥ 地域教育協議会との連携		B					
⑦ 学校関係者評価の実施		A					
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 園内環境の整備と有効活用 施設点検を行い、危険箇所や改善箇所の把握を行い、整備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や遊びの状況に応じて、園内環境の見直しをし更なる保育の充実につながっている。 月1度点検を行い、管理職は随時、安全点検を行い必要箇所は、随時、修繕や改善が出来た。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎月随時、安全点検をすることで園舎や園庭の危険箇所を修繕、改善できたか。 園内環境を見ることで早期発見に努め事故防止につながったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 常に安全面の配慮を職員一人一人が心がける。 	
	② 施設設備の有効利用			A			
	③ 施設設備の管理			A			
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で、共通理解をし、万全を尽くす。 個人情報の取り扱いには十分に留意し、管理と保護は徹底して行う。 研修に参加をし、職員の意識向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの写真や名前の掲載の許可は年度当初に取った。家庭により個人情報についての意識が異なるので、慎重に対応した。 個人情報の漏洩、記録媒体の紛失が起らないように、細心の注意をはらい、管理の徹底を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員の個人情報保護・管理に関する意識が向上したか。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の情報管理の点検体制の充実を図る。 	
	② 公文書の作成			B			
	③ 個人情報の管理・保護			A			
	④ 情報の収集			A			